



「どこから削ったら良い形になるやろ～」  
 勾玉作りの説明を聞き、石の形を確認しています。



縄文の会の方に「いいがになったね」と言われ  
 「もっといいがにするわ」とやる気満々でした。



男の子の職人氣質でしょうか。思うような仕上がりになるまで根気よく削っています。家に帰っても満足いくまで、削ったり、磨いた子もいました。



紐を通して仕上がるとすぐに首にかけ  
 宝物となりました。

押野児童館 「発見!ののいち in じどうかん」

『勾玉つくりと 森あそび』 平成 24 年 5 月 26 日(土)

参加人数 20 名 (1 年～5 年 男 16 名 女 4 名)

内容 ① 勾玉をつくる

② 縄文の森での森あそび

協力者 ふるさと歴史館 縄文の会

ボランティアガイドののいち里まち倶楽部

白山ネイチャーゲーム 地域の会



ロープで作ったクモの巣に引っ掛からないようにくぐります。「ここ押さえとるし、またいでや」とチームで協力です。



自然の形のままの木は登るのに最適です。低学年も上級生の真似をしながら登ります。



自然のブランコ。

縄文の森は子ども達をとりこにしました。